

アジア ハイ・イールド・プラス(毎月決算型)(為替ヘッジなし)

追加型投信/海外/債券

第94期決算における分配金について

2020年6月18日

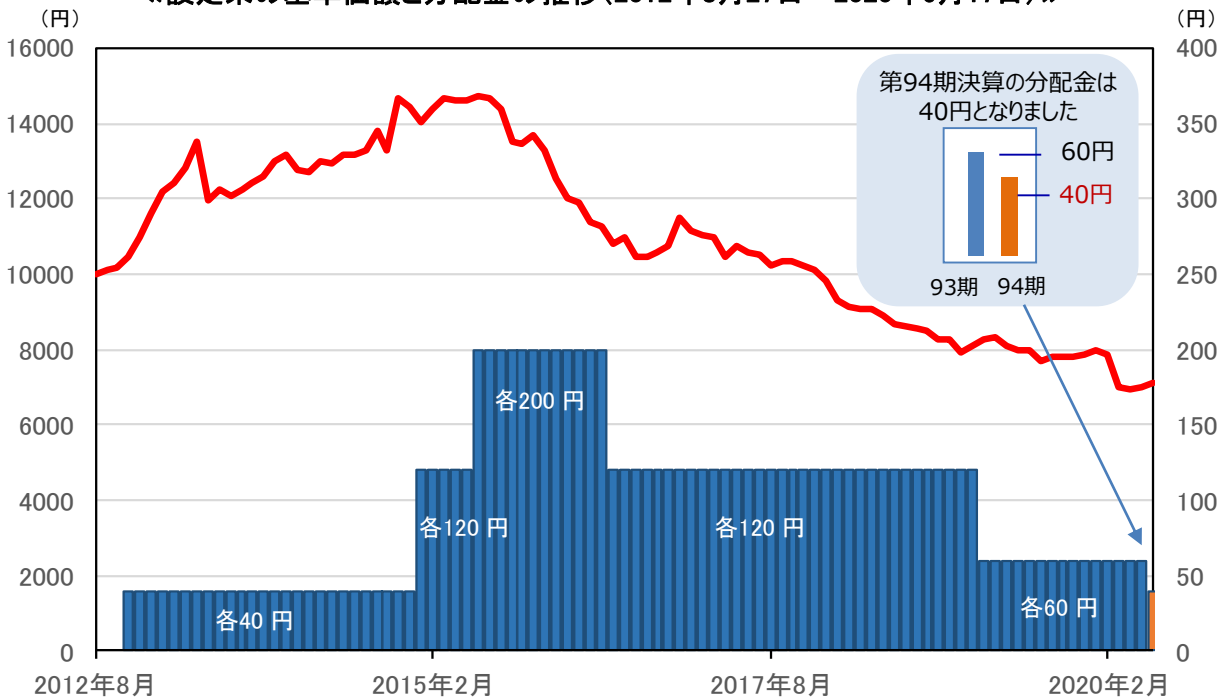
平素は、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、皆さまにご愛顧頂いております「アジア ハイ・イールド・プラス(毎月決算型)(為替ヘッジなし)」(以下、当ファンド)は、2020年6月17日に第94期決算を迎え、第79期から継続していた60円の分配金(1万口当たり、税引前)を40円(同)にさせていただきました。当レポートでは、分配金引き下げの理由や今後の見通しなどについて、ご報告いたします。

《直近5期の分配実績》

	2020/2/17 (第90期)	2020/3/17 (第91期)	2020/4/17 (第92期)	2020/5/18 (第93期)	2020/6/17 (第94期)	設定来合計
分配金 (1万口当たり、税引前)	60円	60円	60円	60円	40円	8,940円

《設定来の基準価額と分配金の推移(2012年8月27日～2020年6月17日)》



※グラフは各決算時です

※折れ線グラフ(左軸)は基準価額で1万口当たり、信託報酬控除後です

※棒グラフ(右軸)は分配金で1万口当たり、税引前です。なお、第1期及び第2期は投資信託約款の定めにより分配を行っておりません

※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません

《本資料に関してご留意いただきたい事項》

■本資料は、「アジア ハイ・イールド・プラス(毎月決算型)(為替ヘッジなし)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

アジア ハイ・イールド・プラス(毎月決算型)(為替ヘッジなし)
追加型投信／海外／債券

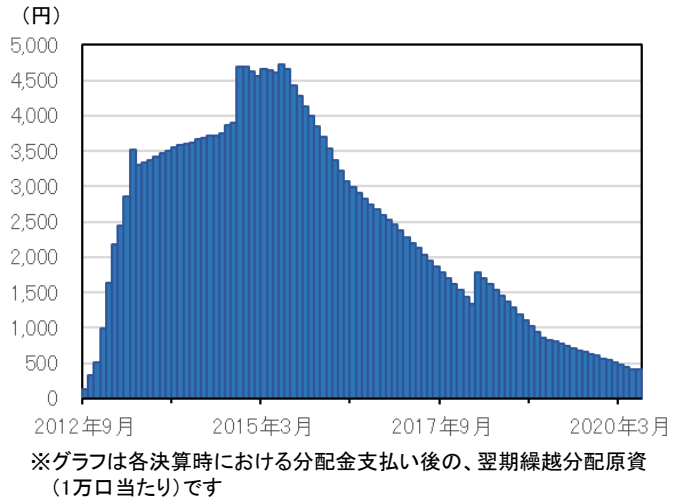
【分配原資の状況等を勘案し、分配金を引き下げさせていただくこととしました】

当ファンドの分配金は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定しており、第79期決算(2019年3月18日)以降、60円(1万口当たり、税引前)を継続してきました。

この間、配当等収益や有価証券売買益等を超える額の分配を行い、不足分は過去に得た収益等を取り崩して充当してきた結果、分配原資は減少傾向を辿っています。

このような分配原資の状況を踏まえ、安定した収益分配を中長期的に継続しつつ、基準価額の上昇を目指すという観点から、分配金をこれまでの60円から40円に引き下げさせていただくこととしました。

《分配原資の状況》

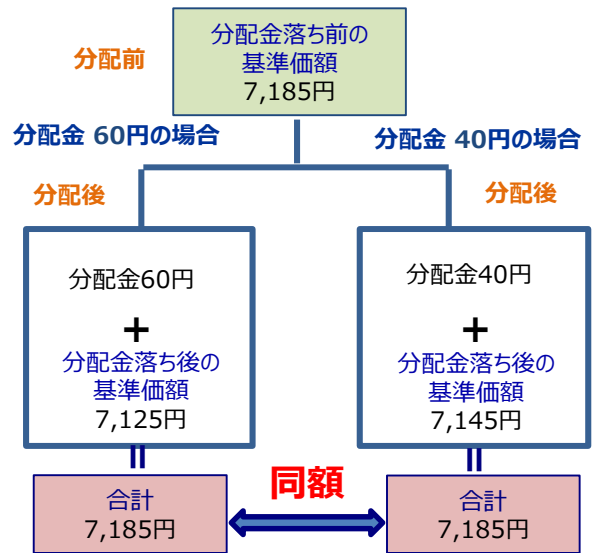


【分配金の引き下げで、決算日時点のファンドの経済的価値は変わるものではありません】

投資信託の分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配を行えばその分、基準価額は下がります。

今回、分配金を60円(1万口当たり、税引前)から40円(同)に引き下げましたが、引き下げた20円相当額は、信託財産に留保され、分配金落ち後の基準価額に反映されます。そのため、60円の分配を行った時と比べて、分配金による基準価額の下落は緩和されます。また、分配金と分配金落ち後の基準価額の合計は、分配金額に関係なく分配金落ち前の基準価額と同じ水準となります。従って、お客様にとって、今回の引き下げにより決算日時点での経済的価値が変わるものではありません。

《分配金と基準価額の関係》



※上記は、分配金と基準価額のご理解いただくためのイメージ図であり、基準価額および分配金の水準を示唆するものではありません
※基準価額は1万口当たりです
※分配金は1万口当たり(税引前)の金額で表示しています
また、分配金は、課税による影響を考慮していません

【今後の分配方針】

今回の分配金引き下げにより、分配原資の減少には一定の歯止めがかかると思われます。今後の投資環境にもよりますが、当面は現行水準での安定分配を目指す方針です。

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「アジア ハイ・イールド・プラス(毎月決算型)(為替ヘッジなし)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

アジア ハイ・イールド・プラス(毎月決算型)(為替ヘッジなし)
追加型投信／海外／債券

当ファンドは「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)」(以下、JPMファンド)および「クレディ・スイス・アジアCBファンド(ヘッジなしクラス)」(以下、CSファンド)を通じて、アジアのハイ・イールド債券および転換社債(CB)等に実質的に投資をすることで、安定した収益の確保と着実な成長を目指した運用を行っています。なお、投資するアジアのハイ・イールド債券は、主に米ドル建てです。

【市場の動向(アジアHY債券とCB)】

設定来のアジア ハイ・イールド(HY)債券市場は、投資家のリスク警戒感が高まる場面ではスプレッドが拡大し、価格が下がる場面も見られましたが、利息収入の着実な積み上がりを背景に、トータルリターンは底堅く推移しました。

CB市場は、2015年のチャイナショックなどの株式市場が大きく下落する場面でも、債券としての価値が下支えとなり、底堅く推移しました。

足元では、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて3月にアジアHY債券市場、CB市場とも急落しましたが、その後は、感染拡大ペースに鈍化の兆しがみられ、投資家心理の改善につながったことなどから、両市場ともに持ち直す動きとなりました。

＜アジアHY債券トータルリターンの推移＞

2012年8月27日～2020年6月16日、米ドル建、2012年8月27日を100として指数化
アジアHY債券: J.P. Morgan JACI Non-Investment Grade Corporates Total Return



(出所) Bloomberg、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーより岡三アセットマネジメント作成

＜アジアCB指数と株式指数の推移＞

2012年8月27日～2020年6月16日、2012年8月27日を100として指数化
アジアCB指数: Thomson Reuters Convertible Index Asia ex Japan (USD)
株価指数: MSCI ex Japan Index



※MSCI指数はMSCI Inc.が算出する指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(出所) Thomson Reuters、Bloombergより岡三アセットマネジメント作成

【運用状況】

当ファンドの設定来の運用パフォーマンス(分配金再投資基準価額ベース)は、6月17日現在+64.3%となり、堅調に推移してきました。

当ファンドは、JPMファンドとCSファンドの合計の組入比率を高位に維持し、JPMファンドでは、米国金利上昇に対する耐性があり、相対的な利回り面でも投資妙味があると判断した中国の不動産銘柄への投資比率を高めています。

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「アジア ハイ・イールド・プラス(毎月決算型)(為替ヘッジなし)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

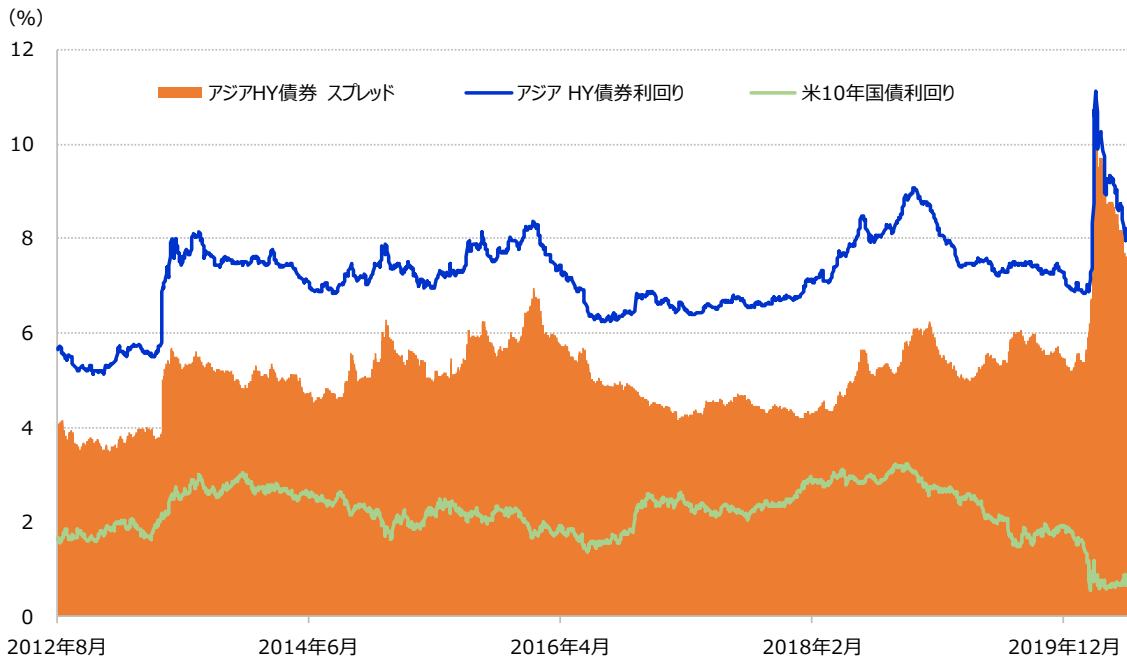
**アジア ハイ・イールド・プラス(毎月決算型)(為替ヘッジなし)
追加型投信／海外／債券**
【今後の見通し】

アジア ハイ・イールド債券市場は、新型コロナウイルスの感染再拡大の懸念は残るものの、一部の国などで都市封鎖（ロックダウン）の部分的な解除が見られ、経済活動再開への期待が高まっていることや、今後も中国などの各国政府や各国中央銀行による大規模な景気対策が支援材料になると予想されます。加えて、主要な中央銀行による金融緩和の長期化観測が、投資家の利回り選好の動きを促し、投資資金の流入が期待されます。

CB市場は、世界経済や企業業績の見通しが不透明な環境下で、当面はボラティリティの高い状態が続くと予想されます。しかし、債券と株式の特性を併せ持つCBは、株式市場の下落局面では債券価値が下支えとなり下落が限定的となる一方、株式市場の上昇局面では株式価値の上昇が価格を押し上げるという特徴により、安定的なパフォーマンスを提供できると考えています。

＜アジアHY債券スプレッドの推移＞

(2012年8月27日～2020年6月16日)



アジア HY債券利回り: J.P. Morgan JACI Non-Investment Grade Yield-to-Maturity
 アジアHY債券スプレッド: J.P. Morgan JACI Non-Investment Grade Blended Spread

(出所) Bloomberg, J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーより岡三アセットマネジメント作成

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「アジア ハイ・イールド・プラス (毎月決算型) (為替ヘッジなし)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

**アジア ハイ・イールド・プラス(毎月決算型)(為替ヘッジなし)
追加型投信／海外／債券**
アジア ハイ・イールド・プラス(毎月決算型)(為替ヘッジなし)に関する留意事項
【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、アジアのハイ・イールド債券、転換社債（CB）等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
 - ファンドの主な基準価額の変動要因としては、各ファンド共通のリスクとして「信用リスク」、「金利変動リスク」、「転換社債（CB）の価格変動リスク」、「流動性リスク」、「カントリーリスク」、各ファンド個別のリスクとして「為替変動リスク」があります。
- ※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- 投資対象とする投資信託証券にかかる購入・換金申込みの受付の中止および取消、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消することがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
 - 購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.85%（税抜3.5%）
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
 - 換金手数料：ありません。
 - 信託財産留保額：換金申込受付日の翌営業日の基準価額×0.2%

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
 - 運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.287%（税抜1.17%）
 - 運用管理費用（信託報酬）の実質的な負担
：純資産総額×年率1.947%程度～年率1.991%程度
 - 実質的な負担とは、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬を含めた報酬です。なお、実質的な運用管理費用（信託報酬）は目安であり、投資信託証券の実際の組入比率により変動します。
- その他費用・手数料
 - 監査費用：純資産総額×年率0.0132%（税抜0.012%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用、受託会社の立替えた立替金の利息、借入金の利息等を投資信託財産でご負担いただきます。また、投資対象とする投資信託証券に係る前記の費用等を間接的にご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

販売会社

(受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次証券会社が含まれております。)

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融 商品取引業 協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○		○
岡三オンライン証券株式会社	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
楽天証券株式会社	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
愛媛証券株式会社	四国財務局長(金商)第2号	○			
三晃証券株式会社	関東財務局長(金商)第72号	○			
野畑証券株式会社	東海財務局長(金商)第18号	○			○

＜本資料に関するお問合わせ先＞

フリーダイヤル **0120-048-214** (9:00～17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)